



今年度、第一回目の医療安全に関する研修風景です。患者様が安心して医療を受けられるよう、当院では安全に対する職員の意識向上を目的に、このような医療安全研修を定期的に行なっております。

医療法人 敬徳会 藤原記念病院の理念と基本方針

私たちは設立の動機である『地域のための医療』を理念とし、次の事項を基本方針といたします。

基本方針

1. 良質な医療提供に関する事項

患者さま本位の医療と良質な医療を提供することを念頭に、救急病院として急性期医療から慢性期医療までを担う病院。また、地域の福祉施設、訪問看護ステーション、自治体などと連携し患者さまに最適な療養環境の提供を目指します。

2. 患者に対する職員の対応に関する事項

笑顔をもっととし、常に患者さまの立場に立ち、患者さま中心の精神を持って行動します。

3. 患者の権利の尊重に関する事項

患者の権利章典を制定し、常に患者さまの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた「共同的な営み」として医療を行います。

4. 職員の就業に関する事項

私たちはプロ意識を持ち、常に自己研鑽に励み、新しい知識と技能の習得に努めます。



院長 白山 公幸 医師
外科

朱夏

秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども
風のおとにぞ おどかれぬる 藤原教行

8月も下旬になり、ようやく暑く寝苦しい夏も過ぎようとしている。
今年の夏も暑かった。

病院でも熱中症、脱水症の患者さんが多く、最高気温が高い日には、救急、外来、病棟ともてんでこ舞いの状態であった。

自分自身も酷暑の中、訪問診療に出かけたが、車の中でエアコンを最高にしても汗が滴り、車のドアを開けて患者様の家の玄関にたどり着くまでがとても長く感じられたものである。

幸いに、入院された方でも重篤な熱中症の方はいなかったため、ほっと胸をなでおろしている。

数年前の暑い夏には、炎天下に外での仕事や農作業、スポーツで熱中症になり、救急搬送される方が多かったが、今年は、家の中で高齢者が熱中症や脱水症になり、搬送される場合も多かった。高齢者は、脱水症になりやすい。それは加齢に伴う体内水分量の減少が基礎にある。さらに、夜間の頻尿を気にするあまり経口水分摂取量が減少すること。潜在的な腎機能の低下があること。食欲の低下や嚥下障害による水分摂取の減少。基礎疾患（糖尿病、高血圧症、心疾患）に起因する利尿作用の亢進や、内服している利尿剤による体内水分の減少などの複合的な要因によって、脱水症を容易に引き起こす。さらに、暑さである。熱中症は、体内の蓄熱量が増加し、体温の調節機構が破綻して全身臓器の機能不全に至るまでの連続した病態と定義づけられている。

高齢者は、若年者に比べ特に暑熱に対しては、発汗作用が弱く体温調節が行われにくい。健康な高齢者でもこの特徴は同様で、環境温度が31℃を超えると活動の低下、食欲不振、傾眠、低血圧、頻脈、高体温、脱水などを引き起こす危険性が高くなる。全身の代謝の低下、内服薬により発熱がマスクされること、自律神経を介する発汗、熱放散機能の障害により外部からは気づかれにくい。

普段介護している人がなんとなく普段と違うと感じる老年症候群（Immobility: 無動 Intellectual deterioration: 意識障害 Incontinence: 失禁 Instability: 不安定性または In-appetence: 無欲）という軽微な症状しか現れないことが多いため、病状が悪化していることも多い。普段介護している方の注意深さや訴えが、高齢者の病気を早く診断するためにとても重要であるということは熱中症に限らず日常の診療では常に感じていることである。重症化しなければ、点滴等による水分の補給や冷涼な環境に移すことにより状態は改善する。今年の暑さもピークを超えたようである。

暑かった夏を思い起こしながら、ゆっくりとした気持ちで秋を味わいたいものである。

白玉の 蜜に染みとおる 秋の夜の
酒は静かに 飲むべかりけり 若山教水



先日、ゆめを見ました

こんにちは。あえて文章にすることでもないことであることは間違いないですが、最近楽しかったことについて。それは先日のゆめの話です。そのゆめは大変美味しいゆめであり、カレーをたくさん食べたゆめでしたが、目覚めてからも満ち足りた気持ちでいっぱいというところでした。

此の夏、食欲がわからない日が続いており食べるのが唯一の楽しみといってもいい私にとってはつまらない日々でありましたが、そのゆめは、そのような毎日を一度に忘れさせてくれるような素晴らしい体験でありました。日常3度の食事を食べている自分はおそらくこんなゆめを見なかったことでしょう。ひもじかったからこそ寝ている間におなかいっぱいになれたにちがいないと思いました。ゆめというのはこれまで大概有難くないものでしたが、今回はその有難みを実感したことでありました。



内科 佐藤 亜紀子 医師

コーヒーの 意外な効能



コーヒー愛飲者は糖尿病にかかりにくいという噂の検証

コーヒーには、ダイエットに役立つ効果があることが知られています。そればかりか、食後の急激な血糖値の上昇を抑えたり、インスリン感受性を改善して、糖尿病の発症を防ぐ効果もあるといわれています。

実際、最近の米国における大規模研究の結果では、コーヒーを1日6杯以上飲む人では、糖尿病にかかる割合が、コーヒーを飲まない人よりも大幅に低いことが明らかになっています。

コーヒー党は不健康な生活習慣、でも糖尿病は少ない。

しかし、その反面、コーヒーをよく飲む人には、コーヒーを飲まない人よりも喫煙者が多く、総摂取カロリーが高く、しかも、運動不足の人が多いことも近年の研究で明らかになっています。

つまりコーヒー愛飲者には「不健康な生活習慣」を持つ人が多いといわれているわけですが、何故か肥満の程度を示す体格指数(BMI)に差はなく、しかも糖尿病の発症率は低いとされています。

コーヒーの効能について初めて研究発表したオランダの研究グループは男女1万7000人を7年間に及ぶ追跡調査を実施しました。その結果、1日7杯以上コーヒーを飲む人は、1日2杯以下の人よりも糖尿病の発症率が5割少なかったとのこと。この結果は2002年の医学情報誌に掲載されると、大きな反響を呼びました。

食事の時に飲むのが効果的

糖尿病の予防効果を期待する場合、食事の時に飲むのが最も効果的であるといわれています。今回、身体に良くなさそうなコーヒーがこのような健康効果を持っていると初めて知った人も多いでしょう。しかし、健康のためだからといって、大量にコーヒーを飲むというのはNGです。コーヒーに全く害はないかという残念ながらそうではありません。一番の糖尿病予防策はきちんとした食生活と適度な運動であるのを忘れなく！

各部門紹介コーナー

今回は放射線科の紹介です

放射線科概要 スタッフ：診療放射線技師 5名 助手 1名

当科は以下のような業務を担当しております。

一般撮影	胸部・腹部・骨部など全身の概観撮影をします。
マンモグラフィ	乳房の撮影をします。
骨塩定量測定	骨の密度を測定します。
透視検査	造影剤を使用して胃や大腸などを撮影します。
ヘリカルCT	X線を使用して全身の断層撮影をします。
MRI	磁力を利用して全身の断層撮影をします。

放射線科アピール

患者様の安全性を第一と考え、効率的かつ効果的に業務を行っております。また上質な画像を提供するため、撮影技術の向上に努めています。鴻上市の乳がん検診で行われているマンモグラフィは、精度の高い画像を提供できるようにマンモグラフィ撮影認定技師が撮影を担当しております。何かご質問がございましたらお気軽にお尋ねください。

(技師長 安達 雅行)



スタッフから一言

放射線に関することは遠慮なく聞いてください。

できるだけ待ち時間がないように努力しています。

マンモグラフィ(乳がん検診)もやっています。



患者さんが安心して検査を受けられるように心がけています。

明るく元気にがんばっています。



肩こりと目の疲れ

テレビや雑誌などによく「肩こり解消運動」などのタイトルを見る事があります。適度な運動はとても良い事ですが、肩こりの原因を解決しなくては「こり」を繰り返してしまう事になりかねません。

肩こりのメカニズム

長時間同じ姿勢をとりつづけたりすると、筋肉が疲れてきます。筋肉がこわばり、血管を圧迫すると血行と代謝が悪くなって疲労物質が流れなくなります。結果、筋肉が固くなり、こったりはったりしてきます。さらに悪化すると痛みやシビレも起きてきます。これは固くなった筋肉が末梢神経を圧迫したり傷つけたりしているからです。もんだり暖めても痛みがとれない、動かすと痛いなどはこの状態です。

次は、肩こりと密接な関係にあると思われる目の疲れについてです。



眼精疲労のメカニズム

眼精疲労(目の疲れ)の原因を正確に特定するのはとても難しい事です。要因が一つでなかったり、全身疾患からくる症状だったりすることもあるからです。目の使いすぎにより、目の奥の視神経の障害が起きます。さらに目の焦点調節がうまくできなくなり、物がぼやけて見えてしまいます。常に焦点を合わせようと頑張るので目が疲れるのです。

「物をよく見る」には、同じ姿勢で頭の位置を保ち、姿勢を維持しつづける事が必要です。長時間同じ姿勢を保っていると、首に負担がかかり、血行不良から肩こりを引き起こしてしまいます。

目の疲れの原因は精神的な影響・眼鏡やコンタクトレンズが合っていない・目のピント調節機能の低下などが考えられます。肩こりの原因は上記にもある目の疲れのほかに、体力低下・肥満・急な運動・デスクワーク・冷え症なども考えられます。しかし、原因はこれだけではないかもしれません。年齢や病気、ストレスなど、全身のコンディションを見直すことにより、正しい原因を知り、それにあった対処法をとってください。

こちらへ
ご相談下さい。

肩こり : 毎週月曜日～金曜日 午前 整形外科外来
目の疲れ : 毎週水曜日午後&毎週土曜日午前 眼科外来

第四回 シリーズテーマ 血圧脈波検査について

全3回の予定でしたが、ご好評につき、引き続き連載します！このコーナーは病院で行われる様々な検査やその内容について、当院「検査科」がわかりやすく解説するコーナーです。

この検査で血管の硬さ・詰まり具合(動脈硬化)の程度がわかります。

動脈硬化を放っておくと・・・

脳への障害・・・○脳出血(くも膜下出血) 脳の血管が破れてしまう病気 ○脳梗塞 脳の血管が詰まってしまう病気

心臓への障害・・・○狭心症 心臓を取り巻く冠動脈が狭くなって起きる病気 ○心筋梗塞 冠動脈の血流が止まる病気

全身への障害・・・○閉塞性動脈硬化症 足の筋肉への血液が減り、歩くと足が痛むなどの症状がある病気。ひどくなると足先が腐ってしまう。

Q どうして動脈硬化が分かるのですか？

A 当院ではVaSera VS-1000という機器を使っています。この検査でCAVIとABIを同時に測定し血管の硬さと狭窄を知ることが出来ます。CAVIは心臓から足首までの動脈の硬さの程度を示す指標です。ABIは足首と上腕の血圧の比を測定することによって動脈の詰まりの程度を表します。

Q 検査時間はどれくらいかかるのですか？

A 実際の測定にかかる時間はわずか5分程度です。衣服の着替えも含めて15分程度で終わります。

Q どのような検査なのですか？

A 検査は、血圧を測るのと同じくらい気楽に受けられます。両手、両足首の4ヶ所に血圧計を巻き、胸に心臓の音を拾うマイクをつけ、血圧を同時に測定するだけなので痛みはありません。



リハビリの打ち切りについてのお知らせ

この18年4月に改定された診療報酬では、リハビリテーション(以下、リハまたはリハビリと略す。)に関する大幅な見直しがされました。

その主な改定内容を述べますと、これまでの理学療法・作業療法の分類から、疾患特性に沿った形での①脳血管リハ②運動器リハ③呼吸器リハ④心大血管リハという疾患別の分類に変更された点。さらにこれらの分類に対し、疾患毎に算定日数の上限が設けられたという事です。

これだけでは意味がわからないと思うので具体的にどういうことなのか？

藤原記念病院の場合で申しますと、当院では社会保険事務局に対して、脳血管リハと運動器リハを実施する施設としての届出を出してリハビリを実施しております。脳血管リハとはその言葉とおり、脳卒中などの脳血管障害に対するリハビリで、運動器リハとは主に骨折などの整形外科疾患に対するリハビリの事を言います。これらそれぞれの疾患に対し、発症日ないし手術日から数えて脳血管障害では180日、骨折などの運動器疾患では150日までしか保険適応にならなくなったということなのです。つまりそれ以降のリハビリは打ち切りに…。



リハビリセンター
主任 見上 豊



政府は患者や現場の混乱を避けるためか、4月1日以前の発症の人はすべて4月1日を起算日にしました。そのため当院でリハビリを受けている方々の中にも、運動器リハの患者様は8月28日、脳血管リハの患者様は9月27日に一番早くその上限日を迎えることになります。

このような制度の決定に至るまでには様々な経緯があったのは事実ですが、その背景には、逼迫する財政やリハビリの財源を医療から介護保険にシフトしたい政府の思惑があるようです。あるテレビ番組でも与党の某大物議員が、「医療のリハビリから介護のリハビリへ切り替わるのだから問題ない」というようなことをまことしやかに話していましたが、現在の介護の現場には、医療のリハビリにかわる受け皿はないのが現状です。それと私的な意見ですが、リハビリは個人の自立を図る指向性を持つのにに対し、介護は個人に対し如何に援助しケアするかという方向性のものなので、本来なら噛み合わないのです。

ここしばらくの間、特に外来で通院する患者様に対し、この打ち切りについての説明する日が続いております。「はい、そうですか。」という患者様より「何故?」「困る!」といった声が多いのが事実です。私共リハビリスタッフもこのことを告げるのに非常に心傷めております。リハビリの日数制限の撤廃を求めて様々な患者団体などから端を発した署名活動もあり、政府への働きかけもされてはおりますが、残念ながら現在のところは決定した法の通りに事は進んでおります。この場を借りて、日数制限によるリハビリの打ち切りに関して、重ねてご理解のほど宜しくお願いします。

地域医療連携室より

相談窓口があります。

介護保険って何?申請はどうやってするの?施設に入りたいけれど、どうすれば良いの?どこにあるのか分からない!など、いざと言うときわからないことがたくさんありませんか?そんな時、地域医療連携室へご相談下さい。入院中、ご本人やその家族など、どなたでもご来室下さい。不明な事・不安な事を聞かせていただき、皆様の立場に立って相談を受けたいと考えています。

地域医療連携室の都合上、相談者が不在の場合もありますので、事前に来室予定を教えていただければと思います。

室長(看護師) 佐々木 由加子

藤原記念病院 地域医療連携室 業務時間・直通TEL&FAX

直通 TEL 018-878-6211・018-878-3713 月～金曜日 午前9時～12時 14時～17時
FAX 018-870-6211 土曜日 午前9時～12時

診察のご案内

- 外来診療：平日／9：00～17：00
土曜／9：00～12：00
- 休診日：日曜日・祝祭日・盆休（8月13日）
年末年始（12月31日～1月3日）
- 診療科案内：内科・外科・小児科・整形外科・リハビリテーション科・
泌尿器科・胃腸科・肛門科・循環器科・呼吸器科・
アレルギー科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・
放射線科
- 人間ドック：随時受け付けています。



Fujiwara Memorial Hospital

藤原記念病院

〒010-0201 湯上市天王字上江川47

TEL 018-878-3131 FAX 018-878-7234

URL <http://www13.ocn.ne.jp/~keitoku/>

編集後記

広報誌を作らせていただく上で、健康についていろいろ調べる機会が増えました。随分知らない事が多く、勉強しながら皆様にはわかりやすく伝えていきたいと考えております。

さて、太陽が沈む時間がぐんと早くなりましたね。セミの声のかわりにトンボの姿を見るようになり、季節の変化を感じています。しかし残暑が長引きそうなので、まだ秋田の短い夏の余韻を楽しめそうです。

特選！受付のお花

いつも患者様にご好評頂いている受付の花を特選し、紹介します。

日本では一般的にトルコ桔梗と呼ばれていますが、原産はトルコではなく北アメリカ。更に言うとかキキョウ科ではなくリンドウ科、なのに通称はトルコ桔梗、面白いですね。その名前の由来ですが、つぼみの形が「イスラム教の教会・モスクに似ているから」とか、「トルコ人が頭に巻いているターバンに似ているから」という説があります。名前はさておき、花言葉のとおり、とっても優美な花ですね。



学名
ユーストマ

分類：リンドウ科エustoma属

- 和名：トルコ桔梗
- 花言葉：優美・希望

なつめの由来



花自体は小さくあまり目立たないなつめ。実は利尿作用や滋養強壯の薬として使われたり、食用として食べたりと用途は様々で、とても貴重されております。決して大きい病院ではありませんが、当院も地域の皆様に貴重されるような病院を目指しなつめと名付けました（なつめの花言葉「健康の果実」）